

中学生も社会の一員

〇〇中学校 交通指導係



昨日、地域の方から電話がありました。

「朝、出勤途中で登校中の中学生に遭遇した。

10人程度が自転車で登校していたが、狭い道一杯に三列、四列で広がり、通り抜けることもできなかった。クラクションで合図すると最後尾の二人はよけてくれたが、二列になっただけで通り抜けにくかった。前の方のメンバーは合図にも知らぬ顔で、そのまま道を空けようとしなかった。あせって無理に追い越して事故になっても困るので、結局広い場所まで自転車の後ろをついて行くこととなった。朝の忙しい時間帯に、これには非常に腹立たしい思いがした。ルールやマナーを守るということもあるが、社会の一員としてドライバーの気持ちにも気づいて欲しい。学校でもしっかり指導して欲しいし、保護者にも我が子の指導をして欲しい。」

という内容でした。昨日朝の会の時間全クラスで話をしてもらったので皆さんも聞いていることと思います。

ところで、ルールやマナーは何のためにあるのでしょうか。もちろん事故やケガを防ぐためでもあるし、円滑に社会生活をおくるためのものです。交通ルールやマナーは人を縛り付けるためにあるではありません。自分の命と他人の命を守り、円滑に通行できるようにしているのです。そして、お互いがルールやマナーを尊重することで住みやすい社会を作っているのです。

「中学生だからそのぐらいのことは目をつぶって欲しい」などとは言っておられません。たとえ子どもであっても社会の一員なのです。社会の一員として、気持ちの良い行動ができる中学生の成長を願ってのお電話だったと思います。期待に応え、家庭や地域で認められる気持ちよい中学生になって下さい。

(H19.8.30)